

平成21年度

# 魅力ある学校づくり推進事業

本校では、この事業において、豊かな心を育む体験活動の充実と国語科における「読む力」の向上を図りながら、特色ある学校づくりに取り組むことにしました。豊かな人間性と確かな学力は、共に密接な関わりをもっており、この2つの関係を車の両輪と考え、調和のとれた教育活動を推し進めてまいりました。

さらに、家庭でのより良い学習習慣や基本的な生活習慣の確立が学力の向上には不可欠と考え、家庭との連携を工夫し、学校での学習と家庭学習を有機的に関連させ、ともに質的な向上を図るための取組にも力を入れています。

家庭・地域との連携強化を図りながら、出会いの場づくりや基本的な生活習慣・学習習慣の確立に向けて、家庭・地域も参加した学校づくりにつながるようにしたいと考えます。 校長 永瀨 渉

## 地域と連携した体験活動



JAの支援による野菜苗の植え付け(5年生)

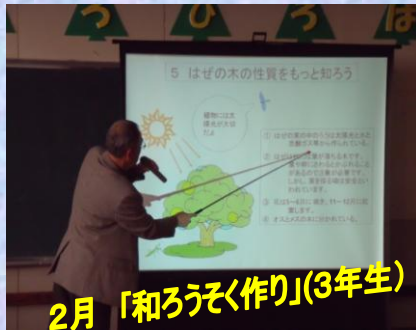
◆地域のみなさんのご支援・ご協力を受け、全学年で栽培体験活動をはじめとして、いろいろな体験活動に取り組んでいます。1学期には、夏野菜の栽培・もち米栽培(田植え)・さつまいも苗の植え付け・大豆の種まき等を行いました。また、2学期には稲刈り・冬野菜の栽培等を体験しました。

3学期は、老人会のみなさんに昔遊びを教えていただき、また、「中原の自然を守る会」のみなさんには、はぜ蠟からの「和ろうそく作り」を体験させていただきました。冬野菜も立派に成長し、たくさん収穫できました。

このような様々な体験活動を通して、児童に地域の方々のすばらしさを実感させるとともに、感謝する気持ちを育てていきたいと思えます。



1月 感謝の会  
冬野菜のシチューを食べていただきました。



2月 「和ろうそく作り」(3年生)

●私たちの郷土中原の歴史の中に、「はぜろう」作りが盛んな時代があったことを知りました。



●溶かした蠟を型枠に流し込んでから1時間。さあ、いよいよ「和ろうそく」のでき上がりです。慎重に、気をつけて！

とても温かな色合いの炎



10月 「いもほり」(1・2年生)



2月 「昔あそび」(3年生)



2月 「味噌作り」の仕込み(4年生)

# 心豊かに、自ら学ぶ力を高める学校づくり

## 「読む力」向上への取組

◆校内課題研修として『「読む力」を高める学習指導の工夫』を主題に掲げ取り組んでいます。本校では、「読む力」を「音読の力」と捉え、声に出してすらすら読むことができれば内容理解も深めることができ、学力向上にも結びついていくであろうという仮説のもと、検証を進めてきました。

「言葉」を意識した音読のできる子の育成をめざします。

●子どもたちの学力向上をめざして、教師の指導力アップのための研修会を夏季休業中に3回実施しました。内容は、「国語の力の向上をめざして」とし、ただ話を聞くだけの研修会ではなく、今回はワークショップを取り入れた参加型の研修会とすることで、2学期からの指導に生かすことができました。



●大きな声で音読ができました。大事な言葉を手がかりに読み取っていきます。

●読み聞かせボランティアの指導を受けた6年生による「読み聞かせ隊」。下級生にわかりやすく読んで聞かせることの難しさを体感しました。



## 学校・家庭・地域連携

●11月1日の県下一斉「ノーテレビ・ノーゲームデー」に合わせて、初めて「ファミリー読書」を実施しました。PTAと学校との連携による取組で、初の試みということもあり、全体で25%ほどの達成状況でした。テレビ等を消して、生み出された時間のいくらかを家族全員で読書に当てる取組は、親子のコミュニケーションも図ることができると好評でした。また、家庭読書の定着にも結びつくと考えられます。3月1日にも2回目を実施しています。来年度は、さらに推進していく計画です。

●家庭学習時間の確保を確実にし、基本的な学習習慣の定着をめざします。そのための手引きとして「家庭学習のすすめ」を作成しました。ご家庭での活用をお願いしています。

## フリー参観日

●今年度は授業参観日(6回)を全てフリー参観として、保護者様だけではなく広く地域にも案内を出して参加をお願いしました。当日の授業内容を学校ホームページでも公開し、なるべく学校に足を運んでいただけるような工夫をしていますが、今後もなお一層の働きかけをして「開かれた学校」をめざしたいと思います。(H21年度の参加率73% 地域参加延べ35名)



みやき町立中原小学校

所在地：三養基郡みやき町大字原古賀1364番地2  
TEL：0942-94-2044  
E-mail：[edq12101@saga-ed.jp](mailto:edq12101@saga-ed.jp)